

2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 株式会社アスコット 上場取引所 東
 コード番号 3264 URL <https://www.ascotcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱崎 拓実
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部マネジャー (氏名) 須貝 尚子 TEL 03-6721-0245
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	12,230	14.3	1,021	△21.5	691	△35.0	863	△3.1
2020年9月期第2四半期	10,701	28.2	1,300	—	1,064	—	891	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 863百万円 (△3.1%) 2020年9月期第2四半期 891百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	8.68	8.48
2020年9月期第2四半期	15.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	75,879	27,298	31.9
2020年9月期	32,287	12,394	38.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 24,195百万円 2020年9月期 12,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

2021年9月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより業績予想の適切かつ合理的な見積もりが困難であることから、今回の業績予想を未定とさせていただきます。今後、適切かつ合理的な見積りが可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社THEグローバル社、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	129,916,668株	2020年9月期	58,948,922株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	148,600株	2020年9月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	99,501,916株	2020年9月期2Q	58,948,922株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高12,230百万円（前年同期比：1,528百万円増）、営業利益1,021百万円（前年同期比：278百万円減）、経常利益691百万円（前年同期比：372百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益863百万円（前年同期比：27百万円減）となりました。

セグメントの経営成績の概要は、以下のとおりであります。なお、各セグメントの売上高の金額は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めない数値を記載しております。また、当第2四半期連結会計期間において株式会社THEグローバル社を子会社化したことに伴い、新たに「ホテル事業」を報告セグメントに含めております。しかし、同社のみなし取得日が2020年12月31日であり、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。このため、当第2四半期連結累計期間における同社の各セグメントに係る業績は含めておりません。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(不動産開発事業)

当第2四半期連結累計期間における不動産開発事業の売上高は10,562百万円（前年同期比：1,070百万円増）、営業利益は1,065百万円（前年同期比：300百万円減）となりました。

当社グループの不動産開発事業は、分譲マンション開発及び賃貸マンション開発並びにオフィス開発に分かれており、その売上高及び営業損益は次のとおりであります。

分譲マンション開発

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,983百万円（前年同期比：124百万円減）、営業損失は88百万円（前年同期：営業利益131百万円）となりました。

前第2四半期連結累計期間は分譲マンション3物件の一部及び戸建て1戸を売却いたしました。当第2四半期連結累計期間においては分譲マンション2物件の一部を売却いたしました。

賃貸マンション開発

当第2四半期連結累計期間における売上高は8,570百万円（前年同期比：1,191百万円増）、営業利益は1,242百万円（前年同期比：67百万円減）となりました。

前第2四半期連結累計期間は17物件を売却いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、19物件を売却いたしております。

オフィス開発

当第2四半期連結累計期間における売上高は8百万円（前年同期比：3百万円増）、営業損失は88百万円（前年同期：営業損失75百万円）となりました。

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、オフィス物件の売却はありませんでしたが、開発物件において賃料収入を得ております。

(不動産ソリューション事業)

当第2四半期連結累計期間における不動産ソリューション事業の売上高は1,598百万円（前年同期比：434百万円増）、営業利益は262百万円（前年同期比：48百万円増）となりました。当社グループの不動産ソリューション事業は、バリューアップ事業並びに不動産コンサルティング、不動産仲介等に分かれており、その売上高及び営業損益は次のとおりであります。

バリューアップ

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,550百万円（前年同期比：386百万円増）、営業利益は281百万円（前年同期比：41百万円増）となりました。

前第2四半期連結累計期間は1物件を売却いたしました。当第2四半期連結累計期間においては3物件を売却いたしました。

不動産コンサルティング、不動産仲介、その他

当第2四半期連結累計期間における売上高は48百万円（前年同期：売上高なし）、営業損失は19百万円（前年同期：営業損失26百万円）となりました。

(その他事業)

当第2四半期連結累計期間の売上高は69百万円（前年同期比：24百万円増）、営業損失は78百万円（前年同期：営業利益5百万円）となりました。

主に、賃貸管理手数料収入を得ております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は75,879百万円（前連結会計年度末：32,287百万円）となり、前連結会計年度末と比較して43,592百万円の増加となりました。

流動資産は66,856百万円（前連結会計年度末：26,617百万円）となり、前連結会計年度末と比較して40,239百万円の増加となりました。主な要因として、現金及び預金が14,329百万円（うち子会社取得に伴う増加5,306百万円、その他の増加9,022百万円）、販売用不動産が17,613百万円（うち子会社取得に伴う増加19,841百万円、その他の減少2,227百万円）、仕掛販売用不動産が7,693百万円（うち子会社取得に伴う増加9,364百万円、その他の減少1,671百万円）それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は8,929百万円（前連結会計年度末：5,670百万円）となり、前連結会計年度末と比較して3,258百万円の増加となりました。主な要因として、子会社取得に伴う有形固定資産が1,515百万円、投資その他の資産が1,733百万円（うち子会社取得に伴う増加1,928百万円、その他の減少194百万円）それぞれ増加したこと等によるものです。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は48,580百万円（前連結会計年度末19,893百万円）となり、前連結会計年度末と比較して28,687百万円の増加となりました。

流動負債は25,653百万円（前連結会計年度末：9,565百万円）となり、前連結会計年度末と比較して16,088百万円の増加となりました。主な要因として、短期借入金が1,586百万円（うち子会社取得に伴う増加3,261百万円、その他の減少1,674百万円）、1年内返済予定の長期借入金が11,317百万円（うち子会社取得に伴う増加11,073百万円、その他の増加243百万円）それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は22,927百万円（前連結会計年度末：10,327百万円）となり、前連結会計年度末と比較して12,599百万円の増加となりました。主な要因として、長期借入金が10,272百万円（うち子会社取得に伴う増加12,482百万円、その他の減少2,209百万円）増加したこと等によるものです。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は27,298百万円（前連結会計年度末：12,394百万円）となり、前連結会計年度末と比較して14,904百万円の増加となりました。主な要因として、資本金が5,499百万円、資本剰余金が5,499百万円それぞれ増加したこと等によります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動により4,895百万円の収入、投資活動により1,335百万円の収入、財務活動により7,263百万円の収入となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は16,249百万円（前年同期：5,325百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動別の主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,895百万円の収入（前年同期：1,016百万円の支出）となりました。主な要因として、たな卸資産が3,871百万円減少したこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,335百万円の収入（前年同期：1百万円の支出）となりました。主な要因として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入1,331百万円があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,263百万円の収入（前年同期：1,517百万円の収入）となりました。主な要因として、物件の売却等により長期借入金の返済による支出5,793百万円があったものの、不動産開発事業及び不動産ソリューション事業における物件の取得に伴い、長期借入れによる収入3,827百万円、株式の発行による収入10,999百万円があったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、現段階での適切かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただいております。業績予想につきましては、今後算定が可能となりました時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,787	17,116
売掛金	1	44
販売用不動産	12,006	29,620
仕掛販売用不動産	11,501	19,194
その他	319	903
貸倒引当金	—	△22
流動資産合計	26,617	66,856
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,334	2,078
その他(純額)	232	1,001
有形固定資産合計	1,567	3,080
無形固定資産		
のれん	133	124
その他	21	41
無形固定資産合計	154	165
投資その他の資産		
その他	3,948	9,712
貸倒引当金	—	△4,029
投資その他の資産合計	3,948	5,682
固定資産合計	5,670	8,929
繰延資産		
株式交付費	—	91
その他	—	2
繰延資産合計	—	93
資産合計	32,287	75,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	832	2,633
短期借入金	2,811	4,398
1年内返済予定の長期借入金	5,381	16,698
1年内償還予定の社債	—	130
未払法人税等	180	278
前受金	160	770
賞与引当金	31	13
その他	166	731
流動負債合計	9,565	25,653
固定負債		
社債	—	1,790
長期借入金	10,191	20,464
転貸損失引当金	3	2
退職給付に係る負債	3	3
その他	129	666
固定負債合計	10,327	22,927
負債合計	19,893	48,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,367	10,867
資本剰余金	5,030	10,530
利益剰余金	1,972	2,835
自己株式	—	△38
株主資本合計	12,370	24,195
新株予約権	24	31
非支配株主持分	—	3,070
純資産合計	12,394	27,298
負債純資産合計	32,287	75,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	10,701	12,230
売上原価	8,498	10,091
売上総利益	2,203	2,139
販売費及び一般管理費	902	1,118
営業利益	1,300	1,021
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	—	3
違約金収入	3	—
その他	1	3
営業外収益合計	4	6
営業外費用		
支払利息	137	131
支払手数料	78	194
その他	24	11
営業外費用合計	241	336
経常利益	1,064	691
特別利益		
負ののれん発生益	—	320
特別利益合計	—	320
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,064	1,011
法人税等	172	147
四半期純利益	891	863
親会社株主に帰属する四半期純利益	891	863

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	891	863
四半期包括利益	891	863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	891	863
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,064	1,011
減価償却費	30	40
繰延資産償却額	20	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△28
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	137	131
為替差損益 (△は益)	△0	—
のれん償却額	8	8
負ののれん発生益	—	△320
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	0
固定資産除却損	—	0
匿名組合投資損益 (△は益)	—	109
売上債権の増減額 (△は増加)	3	0
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,711	3,871
仕入債務の増減額 (△は減少)	△427	△429
その他	62	752
小計	△830	5,156
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△137	△128
法人税等の還付額	8	4
法人税等の支払額	△56	△137
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,016	4,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△5
有形固定資産の売却による収入	—	0
出資金の払込による支出	△1	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△0
敷金及び保証金の回収による収入	2	11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,331
その他	△2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	1,335
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	183	△1,674
長期借入れによる収入	7,709	3,827
長期借入金の返済による支出	△6,374	△5,793
株式の発行による収入	—	10,999
繰延資産の取得による支出	—	△102
新株予約権の発行による収入	—	7
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,517	7,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	499	13,495
現金及び現金同等物の期首残高	4,825	2,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,325	16,249

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月18日付で、SBIホールディングス株式会社及び森燐有限公司 (Sun Ye Company Limited) から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が5,499百万円、資本剰余金が5,499百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が10,867百万円、資本剰余金が10,530百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、株式会社THEグローバル社の発行株式51.95%を取得したことに伴い、同社及びその子会社10社を連結の範囲に含めております。なお、2020年12月31日をみなし取得日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第2四半期連結会計期間においては同社の2020年12月31日時点の貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書に同社の業績は含めておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上額 (注3)
	不動産 開発事業	不動産 ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,492	1,164	10,656	45	10,701	—	10,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	12	12	△12	—
計	9,492	1,164	10,656	58	10,714	△12	10,701
セグメント利益	1,365	213	1,579	5	1,585	△284	1,300

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△284百万円は、セグメント間取引消去0百万円と全社費用△284百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上額 (注3)
	不動産 開発事業	不動産 ソリューション事業	ホテル事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,562	1,598	—	12,160	69	12,230	—	12,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	20	20	△20	—
計	10,562	1,598	—	12,160	90	12,251	△20	12,230
セグメント利益又は 損失(△)	1,065	262	—	1,327	△78	1,249	△228	1,021

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△228百万円は、セグメント間取引消去0百万円と全社費用△228百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

株式会社THEグローバル社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「不動産開発事業」のセグメント資産が6,783百万円、「不動産ソリューション事業」のセグメント資産が3,286百万円、「ホテル事業」のセグメント資産が21,956百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

株式会社THEグローバル社の株式を取得し、連結子会社になったことに伴い、ホテル事業を新たに追加しております。

なお、みなし取得日を、2020年12月31日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

株式会社THEグローバル社の株式を取得し、連結子会社となったことに伴い、当第2四半期連結会計期間において、負ののれん発生益320百万円を特別利益として計上しております。なお、当該負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含めておりません。